

事前説明会は実施企画書に案内があった場合にのみ記載しています。
BT24階にある各教員の掲示板で案内する場合もあるため、あわせて確認してください。

I 期						
コース番号	担当者	テーマ	実施場所	実施時期	募集人数	事前説明会
国内						
I-1	金藤 正直	地域特性を活かした持続可能なビジネスを考える —青森県津軽地方を中心として—	青森県津軽地方(弘前市、黒石市、板柳町、田舎館村)	8月下旬予定	20名程度	日時・場所
I-2	北川 徹哉	陸・海・空・宇の交通運輸を支える	東京都、茨城県、千葉県	8/30(木)、8/31(金)、9/3(月)、9/4(火)、9/5(水)、9/7(金)、9/10(月)のうちの4日間	25名	
I-3	高田 雅之	国立公園の魅力とそれを支える地域活動 —北海道サロベツ湿原と利尻島を訪ねる—	北海道:利尻礼文サロベツ国立公園(サロベツ湿原、利尻島など)	9月6日(木)~10日(月)	29名(1年から4年まで幅広く参加して下さい)	5/7(月)12時40分~13時00分 BT0610 5/11(金)12時40分~13時00分 BT0610 ※各回同じ内容
I-4	竹本 研史 根崎 光男	金沢の街並み保存と石川県の風景表象と文化 —文学と歴史を中心に—	石川県金沢市・輪島市	9月11日(火)から14日(金)まで	14名	
I-5	田中 勉	吉川FS プナの森から農業と農村を考える	新潟県上越市吉川区(旧吉川町)全域	8月20日前後(5月初旬に確定します)	20名	同一内容で2回行います。 (20分程度、事前予約不要) ①4/27(月)昼休み 12時40分~ 場所:BT24階人間環境学部資料室 ②5/11(金)昼休み 12時40分~ 場所:BT24階人間環境学部資料室
I-6	谷本 勉	科学博物館で学ぶ	国立科学博物館(東京)他、各自の関心に応じて決定します。	各自の計画による(夏期休暇中)	20名	
I-7	辻 英史	「過ぎ去ろうとしない過去」 —歴史を現在にいかにかかすか? 長崎編	長崎県長崎市内	8月22日~8月25日	15名	4/23(月)昼休み BT0508LL 4/25(水)昼休み BT0609LL 5/7(月)昼休み BT0508LL
I-8	西城戸 誠	生業の聞き書きから考える島のサステイナビリティ	東京都八丈町	8月6日~10日	8名~10名程度	4/24(火)、5/8(火)12:45-13:10 BT24階人間環境学部資料室会議室
I-9	西城戸 誠 横内 恵	震災と地域再生 —石巻市内と北上町の震災復興の現在—	宮城県石巻市、仙台市	9月5日~8日	20名~25名程度 (参加者が10名に満たない場合は、催行を中止することがある)	4/24(火)、5/8(火)12:45-13:10 BT24階人間環境学部資料室会議室
I-10	長谷川 直哉 竹原 正篤	奄美大島の自然環境・地場産業・歴史文化を学ぶ	鹿児島県奄美市(奄美大島)	9月10日(月)~13日(木)	25名程度	
I-11	平野井 ちえ子	SCOT(Suzuki Company of Toga)の演劇とその背景: 富山の文化と自然を学ぶ	富山県南砺市・砺波市・富山市	8月23日(木)~8月26日(日)	15名	5/9(水)昼休み 人間環境学部資料室会議室
I-12	藤倉 良	大田区の環境と産業	東京都大田区	8月3日(金)~8月10日(金)(予定)	15名	
I-14	朝比奈 茂	障がい者福祉の体験	群馬県安中市	8月1日(水)~31日(金)	20名程度	6/23日(土)17時~19時(BT24階会議室)
海外						
I-13	日原 傳 朝比奈 茂	フィールドスタディ中国 北京・河北・山東・上海 —中国大陸で地球環境問題、歴史文化を学ぶ—	北京市、河北省承德市・塞罕壩、山東省、上海市	8月30日(木)~9月8日(土)	20人程度	日時・場所

II 期 ※II期実施分の募集は秋学期に行います。

コース番号	担当者	テーマ	実施場所	実施時期	募集人数	事前説明会
国内						
II-1	板橋 美也 高橋 五月	食と命と平和 ~自給自足の有機農業を学びながら国際交流~	栃木県那須塩原市	2019年3月上旬	15名程度	日時・場所
II-2	國則 守生	地域における就労継続支援・生活介護活動への参加 —障がい者とともに同じときを過ごす—	埼玉県三郷市	2019年2月1日(定期試験終了後)-22日を予定	10名 (施設受け入れキャパシティの関係から1日当たり訪問者:3名以下)	
II-3	梶 裕史	石垣島・白保におけるサンゴ礁文化継承のとりくみを学ぶ	沖縄県石垣島・白保集落	2019年3月7日~11日(第一候補。秋学期II期募集開始時に、確定した期間をお知らせします。)	15名以内	
II-4	西城戸 誠 長峰 登記夫	津軽鉄道でむすぶまちづくり	青森県五所川原市、中泊町、つがる市ほか	2019年2月16日~19日(予定)	15~20名程度 (参加者が10名に満たない場合は、催行を中止することがある)	
海外						
II-5	ストックウェル・エスター 高田 雅之	フィールドスタディ・イン・オーストラリア:英語と自然環境保護を学ぶ	オーストラリア、クィーンズランド州ゴールドコーストにある、ボンド大学付属語学学校(Bond University, Bond College)	2019年2月末から3月半ばにかけての2週間程度	20名程度	日時・場所
II-6	辻 英史 西城戸 誠	「過ぎ去ろうとしない過去」 —歴史を現在にいかにかかすか? ドイツ編	ドイツ連邦共和国	2019年3月3日(日)~15日(金)予定	15名	

テーマ タイトル	地域特性を活かした持続可能なビジネスを考えるー青森県津軽地方を中心としてー		
担当者	金藤 正直		
実施時期	8月下旬予定	日程	3泊 4日
実施場所	青森県津軽地方（弘前市、黒石市、板柳町、田舎館村）		
協力機関	青森県、板柳町、田舎館村、弘前実業高等学校、弘前大学など		
募集人員	20名程度		
学習目的	<p>青森県は、りんごだけではなく、桃やぶどうなど風土を活かした新たな農作物にも力を入れ、農家（生産者）、製品・加工業者、流通・販売業者などから構成されるフードシステムを作り、ビジネスを展開しています。こうした取組みに加えて、県では、各地で再生可能エネルギー事業にも注力し、このエネルギーを活かした新たなビジネスモデルも検討しています。このフィールドスタディでは、青森県津軽地方を対象とし、再生可能エネルギーを活用したフードシステムとそれによる新たなビジネス案および地域活性化策を、事前学習、現地調査、「まち」の歴史・文化に基づいて検討します。</p> <p>【学習ポイント例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内におけるフードシステムの現状分析 ・県内の再生可能エネルギーの現状とビジネスとの関係 ・再生可能エネルギーを活かしたフードシステムの展開可能性 ・ビジネス化への課題を解決し、将来展開すべき地域活性化の方法 		
行程	<p>行程は現在検討中です。以下の行程は、昨年度のもので、□のついた訪問先は、今年度も訪問予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日目：現地集合（弘前駅）⇒津軽ゆめりんごファーム⇒国内外のりんご産業についての講義@弘前大学⇒食事会@弘前実業高等学校⇒弘前市内宿泊 ・2日目：板柳町ふるさとセンター⇒弘前市内宿泊 ・3日目：弘前市りんご公園⇒岩木山麓しらとり農場⇒弘前市内宿泊 ・4日目：高大連携による検討会・報告会@弘前実業高等学校⇒現地解散（弘前駅） <p>※今年度は、□の訪問先での学習に加えて、田舎館村にある温泉熱を活用したいちご農園や米農家を訪問したり、青森産業技術センター（黒石市）で再生可能エネルギーを活かしたフードシステムの可能性に関する講義や研究施設の見学も行う予定です。</p>		
宿泊場所	住所〒 未定ですが、毎年弘前市内に宿泊	施設名	TEL
費用	<p>約 60,000 円（新幹線＋電車（東京⇄弘前）、宿泊費、貸切バス代、食事代などを含む） ※参加人数や交通手段などによって、費用額が変わります。</p>		
事前・事後学習の予定	<p>(1) 事前学習（「学習ポイント例」を参考にした学習やチーム編成など）： 春学期の土曜日（3時限以降）あるいは8月上旬を予定</p> <p>(2) 事後学習（各チームの調査報告・レポートについて）：9月上旬を予定</p>		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 高校生と一緒に、訪問先での調査を始め、最終日の検討会・報告会を行いますので、参加される皆さんには、高校生と他の参加メンバーへの十分な配慮と、積極的な行動をお願いします。</p>		
選考基準	選考にあたっては、 志望調査票 の内容を重視しますが、必要に応じて、その内容に基づいた 面接 も行います。		
評価方法	事前学習や事後学習への参加や対応、訪問先での参加状況と積極性、検討会・報告会の内容とそれをまとめたレポートをもとに総合的に評価します。		

※現在未定になっている項目については、今後更新しますので、こまめに掲示を確認してください。

テーマ タイトル	陸・海・空・宇の交通運輸を支える		
担当者	北川徹哉		
実施時期	8/30(木), 8/31(金), 9/3(月), 9/4(火), 9/5(水), 9/7(金), 9/10(月)のうち4日間	日程	0泊 4日
実施場所	東京都, 茨城県, 千葉県		
協力機関	日本航空, 筑波宇宙センター, 成田国際空港 (そのほか調整中)		
募集人員	25名		
学習目的	社会と経済の基盤である陸上, 海上, 航空の交通運輸を支える維持, 施設, サービスに関する現場, そして地上と宇宙とを結ぶ現場に触れましょう。		
行程	<p><u>確定している行程</u></p> <p>8/31(金) 筑波宇宙センター: 宇宙開発拠点の視察</p> <p>9/3(月) JAL 格納庫: 航空機メンテナンスの視察</p> <p>9/4(火) 成田国際空港: 空港施設の視察</p> <p><u>未決定の行程</u></p> <p>8/30(木), 9/5(水), 9/7(金), 9/10(月)は予定を空けておいてください。それらのいずれかの一日に訪問先が追加となります。決定次第, 参加予定の学生さんに掲示・メール等で連絡します。</p>		
宿泊場所	住所〒	施設名	TEL
費用	【約4,000円 [内訳は下記]】 + 【各自宅から訪問先への往復交通費ほか】 [貸切バス費用一部負担(1,000円程度), 筑波宇宙センター見学費(500円), 成田国際空港見学ツアー代(2,500円程度)など]		
事前・事後 学習の予定	事前講義: 7/14日(土)4限(場所は掲示・メール等で連絡します。) 事後講義: 学生さんと相談して日程を決めたいと思います。		
注意事項	(1)参加許可後にキャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも, 費用負担をしてもらう場合があります。 (2)上記「行程」に記載のように, 8/30, 9/5, 9/7, 9/10のいずれかの日に訪問先が追加されますので予定を空けておいてください。確定しましたら, 参加予定の学生さんに掲示・メール等で連絡します。		
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> ・(学年相応の)本コースへの志望理由 ・その他, 応募状況によって判断します。 ・本コースの内容は入門的であり, 社会人学生にはあまり向きません。 		
評価方法	事前・事後講義, 現地視察の参加状況とレポートの内容をもとに評価します。		

テーマ タイトル	国立公園の魅力とそれを支える地域活動 ー北海道サロベツ湿原と利尻島を訪ねるー		
担当者	高田雅之		
実施時期	2018年9月6日(木)～10日(月)	日程	4泊 5日
実施場所	北海道：利尻礼文サロベツ国立公園（サロベツ湿原、利尻島など）		
協力機関	環境省稚内事務所、NPO 法人サロベツ・エコネットワーク、利尻島自然情報センター		
募集人員	29名（1年から4年まで幅広く参加して下さい）		
学習目的	利尻礼文サロベツ国立公園の優れた自然にふれるとともに、NPO 活動などによる保全や、産業振興との共生に取り組む人々の活動現場を訪ね、自然の魅力を支える地域社会の在り方について考えることを目的とします。サロベツ湿原では自然再生や農業との共生について、利尻島では外来種や登山道問題、観光や水産業との関わりについて、さらに稚内市では自然エネルギーの現場を訪ねます。		
行程	概要（詳細は後日確定） 第1日 稚内空港集合、サロベツ湿原と湿原センターを訪問（豊富町泊） 第2日 サロベツ湿原の自然再生事業地と酪農の現場を訪問、 砂丘林の再生活動に参加、地域活動についてお話を聞く（豊富町泊） 第3日 ノシャップ岬、利尻島へ移動、ウニ採り体験、歴史散策（利尻町泊） 第4日 利尻岳の登山道浸食問題の現場を視察、自然史博物館と名水を訪問、 湿原の外来種除去活動を体験、栽培漁業の現場、湿原散策（利尻町泊） 第5日 稚内へ移動、メガソーラーと風車（ウィンドファーム）を見学、宗谷岬、 稚内空港にて解散		
宿泊場所	住所〒 ①〒098-4132 天塩郡豊富町豊富温泉 ②〒097-0401 利尻郡利尻町杓形富士見	施設名	①ニュー温泉閣ホテル 0162-82-1243 ②ホテル利尻 0163-84-2001
費用	約46,000円（宿泊、全食事、交通費、地域交流会費を含む） （ただし東京と稚内の往復旅費（航空運賃等）は含まれていません）		
事前・事後 学習の予定	ガイダンスミーティング：5/25と5/28の昼休み（いずれかに必ず参加） 事前講義：6/18の週、7/2の週、7/16の週（予定）の3回実施（課題割り当てと発表） 事後講義：9月と10月に各1回計2回実施（成果のまとめ作業と発表を予定） ・日程は5月下旬のガイダンスミーティングで決定する予定です。 ・事前及び事後講義は6-7限に行う予定です。		
注意事項	(1)定員を超える参加希望があった場合、選考を行います。 (2)参加決定後にキャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (3)以下の日程で事前説明会を行いますのでご参加下さい。各回同じ内容です。 昼食を食べながらで構いません。 5月7日(月) 12時40分～13時00分 BT0610 5月11日(金) 12時40分～13時00分 BT0610 (4)事後講義終了後、学習成果についてのレポートを提出してもらいます。		
選考基準	FSのテーマに高い関心と問題意識を持ち、個人またはグループによる学習への強い意欲と、団体行動への積極的な貢献意欲を有していることを要件とします。		
評価方法	事前・事後講義への参加と学習内容、現地での活動と学習、学習成果レポートにより評価します。		

I-4

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	金沢の街並み保存と石川県の風景表象と文化——文学と歴史を中心に		
担当者	竹本 研史 (○)、根崎 光男		
実施時期	2017年9月11日(火)から14日(金)まで	日程	3泊 4日
実施場所	石川県金沢市・輪島市		
協力機関	「NPO 法人 金澤町家研究会」、「金澤町家情報館」など		
募集人員	14名		
学習目的	<p>金沢は芸術文化が花開く文化都市であり、能登は雄大な自然と金沢とはまた異なる文化をもつ。こうしたことを背景に、石川県は数多くの文学作品の舞台となっているが、文字で描写されるその姿は、読み手の想像力を大いに掻き立て、私たちはその実際の光景を確認してみたい。金沢を例にとるならば、景観に関する条例などを設けたり、歴史的な街並みの保存を積極的におこなったりするなど、文学作品の舞台となった場所の景観が保存されているため、そうした表象としての舞台と実際の景観との差異を確認することができるだろう。</p> <p>本企画は、おもに文学と歴史学の観点から、(1) まず金沢市の町並み保存やまちづくりを学ぶこと、(2) 次に、泉鏡花、徳田秋聲、室生犀星という3人の文豪を輩出した金沢の風景を実際に目の当たりにして、文学作品による表象との異同を確認しながら文字芸術の可能性を問い直すこと、(3) 金沢とは異なる能登半島の自然と文化を学ぶことを目的としている。</p>		
行程	<p>・ 1日目(9/11)：現地集合 (ホテル) —— (路線バス) →文学館を中心に、ひがし茶屋街・主計町界限などの浅野川流域を歩く—— (路線バス) →ホテル</p> <p>・ 2日目(9/12)：ホテル—— (貸切バス) →輪島市で漆芸やキリコなどについて学び、上時国家、白米千枚田を見学—— (貸切バス) →ホテル</p> <p>・ 3日目(9/13)：ホテル—— (路線バス) →金沢市内(里見町・水溜町)で「こまちなみ」保存について学ぶ—— (路線バス) →妙立寺、にし茶屋街、および文学館など犀川流域から寺町台を歩く—— (路線バス) →ホテル</p> <p>・ 4日目(9/14)：ホテル—— (路線バス) →成巽閣—— (徒歩) →兼六園—— (路線バス) →現地解散 (ホテル)</p> <p>*各晩ともにミーティングあり</p> <p>*具体的な訪問先や行程順については、諸事情により変更する場合がありますので、BT 24階の竹本掲示板にて更新情報を随時チェックしておくこと。</p>		
宿泊場所	住所〒920-0847 石川県金沢市堀川町 5-2	施設名	岡ホテル Tel: 076-263-5351
費用	<p>約27,000円(宿泊費、プログラム参加料、旅行保険代など)</p> <p>*自宅から金沢駅までの交通費、昼・夕食代、金沢市内の路線バスなどの現地交通費は別途必要。</p> <p>*北陸新幹線「かがやき」(全車指定) 東京-金沢往復28,640円(学割を使えば、運賃分は2割引)。</p>		
事前・事後学習の予定	<p>事前学習：6/16、7/14、8/4 (いずれも土曜日4・5限)</p> <p>事後学習：10/6、10/13 (いずれも土曜日4・5限)</p>		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないこと。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合がある。</p> <p>(2) 本番および事前・事後学習の日程を上掲しておくので、<u>これらすべての日程に参加できる場合のみ応募すること</u>。</p> <p>(3) 2日目の貸切バスの費用負担はなしの予定。</p> <p>(4) 文学や歴史学を中心とした人文科学分野に強い関心のある学生が望ましい。</p>		
選考基準	志望調査票の記載内容に基づいて選抜。		
評価方法	事前・事後学習・本番すべてのプログラムへの参加姿勢(現地の方々への質問や毎日提出する「振り返りシート」なども含む)とレポートに基づき総合的に判断。		

I-5

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	吉川FS ブナの森から農業と農村を考える		
担当者	田中 勉		
実施時期	8月19日(日)～22日(水)〔確定〕	日程	3泊4日
実施場所	新潟県上越市吉川区 (旧 吉川町) 全域		
協力機関	上越市役所、柿崎区・吉川区総合事務所、吉川土地改良区、旭土地改良区、 (株)よしかわ杜氏の郷、農事組合法人 竹直生産組合、東田中生産組合、 川谷地区の農家のみなさん、川谷もより協議会		
募集人員	20名		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・尾神岳のブナの森から水田地帯にかけての吉川の美しい自然にふれる。 ・森林からの水系の利用、棚田の多面的機能など農業と自然のかかわりについて学び、食料自給率、食の安全、農業の持続可能性を考える。 ・「高齢化・過疎化」が語られる農業集落の現状を知り、将来について考える。 ・訪問先の関係者との親交を深める。 		
行程	<p>第一日目 開講式： 講義：「吉川の農業と農村」・「このFSで何を見て、聞いて、考えるか」</p> <p>第二日目 ブナ林から下流までの水の流れをたどる旅 (ブナ天然林、取水堰、用水路、溜池、揚水機場など)</p> <p>第三日目 竹直生産組合、東田中生産組合を訪ね「集落営農」について学ぶ 「よしかわ杜氏の郷」(酒蔵)見学 川谷地区で農家の人に聞く- 山間地の棚田見学、農作業体験など</p> <p>第四日目 まとめの講演と検討会 (詳細は参加者の希望を考慮して決定します)</p>		
宿泊場所	住所〒949-3551 上越市吉川区坪野 1458-2	施設名	吉川「スカイトピア遊ランド」 Tel.0255-47-2221
費用	約 27,000円 (別途、交通費がかかります) (3泊10食の宿泊・全食事代、農家への謝礼、旅行保険料などを含みます)		
事前・事後 講義の予定	<p>第1回：6月2日(土)午後3時～4時 場所：B T24階人間環境学部資料室 (予定)</p> <p>第2回以降は参加者と相談して決めます</p>		
注意事項	<p>(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2)農業・農村問題、農業政策、環境保全型農業、などに関する事前学習会を4回ほど行います。事前学習に参加できない場合、辞退をしてもらうことがあります。</p>		
選考基準	応募者多数の場合、参加者の関心事項ができるだけ多様になるように選考します。面接は行わない予定です。		
評価方法	事前・事後学習への出席状況、レポート、を総合評価します。		
説明会を 行います	<p>同一内容で2回行います。(20分程度、事前予約不要)</p> <p>①4月27日(月) 昼休み、12時40分～、場所：B T24階人間環境学部資料室</p> <p>②5月11日(金) 昼休み、12時40分～、場所：B T24階人間環境学部資料室</p>		

テーマ タイトル	科学博物館で学ぶ		
担当者	谷本勉		
実施時期	各自の計画による（夏期休暇中）	日程	4日以上
実施場所	国立科学博物館（東京）他、各自の関心に応じて決定します。		
協力機関	特になし		
募集人員	20人		
学習目的	市民の科学リテラシー（身につけておくべき科学の知識と素養＝科学力）を高めることを期待されている各地の科学博物館で、各自の関心のあるテーマを見つけて、自身の科学リテラシーを向上させると共に、科学博物館利用のノウハウを修得することを目的とします。		
行程	例えば首都圏の、国立科学博物館（東京）、千葉県立中央博物館（千葉市）、生命の星地球博物館（小田原市）、埼玉県立自然史博物館（長瀨町）など、各地の科学博物館で行われるさまざまな企画に通算4日以上参加して、大学の外の知の現場を体験し、自然環境について多面的に学ぶこととなります。		
宿泊場所	原則日帰り学習ですが、宿泊を要する企画に参加するのも可能です。	施設名	国内各地の科学博物館などです。
費用	企画によって受講料が必要なものもありますが、原則的には実施場所までの交通費、入館料、食事代、と保険料金が主な費用となります。		
事前・事後学習の予定	6月中旬土曜日午後の説明会を行いますから、必ず出席して下さい。事前・事後学習は受講者と相談して決定します。		
注意事項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2) グループ学習ではなく、個人参加型のフィールドスタディです。自分で博物館の企画を調べ、参加し、報告することが必要となります。		
選考基準	受講者は志望調査票の記述内容に基づいて選考します。		
評価方法	事前の計画書と事後の報告書を中心にして総合的に評価します。		

I-5

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	吉川FS ブナの森から農業と農村を考える		
担当者	田中 勉		
実施時期	8月19日(日)～22日(水)〔確定〕	日程	3泊4日
実施場所	新潟県上越市吉川区 (旧 吉川町) 全域		
協力機関	上越市役所、柿崎区・吉川区総合事務所、吉川土地改良区、旭土地改良区、 (株)よしかわ杜氏の郷、農事組合法人 竹直生産組合、東田中生産組合、 川谷地区の農家のみなさん、川谷もより協議会		
募集人員	20名		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・尾神岳のブナの森から水田地帯にかけての吉川の美しい自然にふれる。 ・森林からの水系の利用、棚田の多面的機能など農業と自然のかかわりについて学び、食料自給率、食の安全、農業の持続可能性を考える。 ・「高齢化・過疎化」が語られる農業集落の現状を知り、将来について考える。 ・訪問先の関係者との親交を深める。 		
行程	<p>第一日目 開講式： 講義：「吉川の農業と農村」・「このFSで何を見て、聞いて、考えるか」</p> <p>第二日目 ブナ林から下流までの水の流れをたどる旅 (ブナ天然林、取水堰、用水路、溜池、揚水機場など)</p> <p>第三日目 竹直生産組合、東田中生産組合を訪ね「集落営農」について学ぶ 「よしかわ杜氏の郷」(酒蔵)見学 川谷地区で農家の人に聞く- 山間地の棚田見学、農作業体験など</p> <p>第四日目 まとめの講演と検討会 (詳細は参加者の希望を考慮して決定します)</p>		
宿泊場所	住所〒949-3551 上越市吉川区坪野 1458-2	施設名	吉川「スカイトピア遊ランド」 Tel.0255-47-2221
費用	約 27,000円 (別途、交通費がかかります) (3泊10食の宿泊・全食事代、農家への謝礼、旅行保険料などを含みます)		
事前・事後 講義の予定	<p>第1回：6月2日(土)午後3時～4時 場所：B T24階人間環境学部資料室 (予定)</p> <p>第2回以降は参加者と相談して決めます</p>		
注意事項	<p>(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2)農業・農村問題、農業政策、環境保全型農業、などに関する事前学習会を4回ほど行います。事前学習に参加できない場合、辞退をしてもらうことがあります。</p>		
選考基準	応募者多数の場合、参加者の関心事項ができるだけ多様になるように選考します。 面接は行わない予定です。		
評価方法	事前・事後学習への出席状況、レポート、を総合評価します。		
説明会を 行います	<p>同一内容で2回行います。(20分程度、事前予約不要)</p> <p>①4月27日(月) 昼休み、12時40分～、場所：B T24階人間環境学部資料室</p> <p>②5月11日(金) 昼休み、12時40分～、場所：B T24階人間環境学部資料室</p>		

I-7

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	「過ぎ去ろうとしない過去」—歴史を現在にいかにかに活かすか? 長崎編		
担当者	辻 英史		
実施時期	2018年8月22日～8月25日	日程	3泊4日
実施場所	長崎県長崎市内		
協力機関			
募集人員	15人		
学習目的	地域社会は、その歴史遺産をどのように活用しているのか? 現在、歴史を活用した地域振興やまちづくりが各地で盛んにおこなわれている。歴史上の著名な人物や重大事件、建築物は、その街の魅力を外に向かって発信することに、いかに貢献しているのか。歴史を通じて郷土愛やナショナル・アイデンティティはどのように作り上げられていくのだろうか。長崎を実例として、これらの課題への取り組みを学ぶ。		
行程	第1日(長崎の歴史をたどる) 午前羽田空港集合、長崎空港から市内へ移動、長崎市歴史文化博物館、出島和蘭商館跡 第2日(キリスト教、近代産業の発達) 26 聖人記念館、大浦天主堂、グラバー園、三菱長崎造船所記念館、新地中華街、 第3日(原爆) 山王神社二ノ鳥居、原爆資料館、平和公園など訪問 第4日(軍艦島) 端島炭鉱訪問、市内から長崎空港へ移動、午後～夕方羽田空港にて解散		
宿泊場所	住所〒 JR長崎駅前のホテルを予定	施設名	Tel
費用	約 66,000 円(羽田～長崎間の航空運賃、宿泊・朝食費、長崎市内交通費、各施設入館料を含む) このほか、自宅から羽田空港への往復交通費、期間中の昼食および夕食の費用、雑費(水分補給用の飲み物代など)がかかります。		
事前・事後 学習の予定	事前学習 5回(5月30日、6月20日、7月11日、8月1日、8月8日) 事後学習 1回(9月中旬予定) ※いずれも水曜6限に実施		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)このコースは、II期に開催するドイツFSと内容的に関連しています。本コース参加希望者は同コースにも参加することを極力推奨します。		
選考基準	志望理由書。定員を上回った場合に限り面接を実施する。 説明会日程: 4/23(月) BT0508LL、4/25(水) BT0609LL、5/7(月) BT0508LL ※すべて昼休み(12:40～13:00)に実施。		
評価方法	事後のレポート提出。		

テーマ タイトル	生業の聞き書きから考える島のサステイナビリティ		
担当者	西城戸誠		
実施時期	2018年8月6日～10日	日程	4泊 5日 (船中泊1日)
実施場所	東京都八丈町		
協力機関	SHIP、hanalimaponono		
募集人員	8名～10名程度		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・八丈島の生業に関する調査、聞き書きの作業から、八丈島のサステイナビリティを展望する。 ・八丈島の高校生との交流から、地域（島）に住むことの意味、地元（島）の今後を考えることの意味を考える。 		
行程	<p>0日目：東京→八丈島（船で移動）</p> <p>1日目：オリエンテーション、島の酪農（聞き書き）</p> <p>2日目：地熱発電と園芸農業（聞き書き）、くさや（聞き書き）</p> <p>3日目：シイタケ栽培（聞き書き）、役場訪問、漁協訪問、高校生との交流</p> <p>4日目：プレゼンテーション（飛行機で帰京）</p> <p>（内容は変更することがあります。また、最終日の飛行機が飛ばない場合は、翌日の船／飛行機で帰ることがあります）</p>		
宿泊場所	住所〒 東京都八丈島八丈町大賀郷 4333-2	施設名	ロッヂ・ワイルル Tel 04996-2-4404
費用	約 42,000 円（往復の交通費は含まない・夕食代は別（自炊の可能性あり）） （往路（フェリー／ネット割引）は 6720 円、復路（飛行機／旅割 10390 円）		
事前・事後 学習の予定	6月～7月にかけて、水曜日の6,7時限目に実施する		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 事前講義の日程については、後日揭示します。各自、確認してください。</p> <p>(3) 現地で聞き書き作業を行うため、ノートパソコン、ポメラなどがあることが望ましい（1,2台は貸与可能）。</p> <p>(4) 夕食は自炊をする可能性もあるため、食糧持参をする場合もある。</p> <p>(5) 天候により全日程の中止の場合は、別日程での実施もあり得る。</p>		
選考基準	参加希望者が多い場合は、「フィールド調査論」を履修済み／履修中の学生を優先する。フィールド調査経験者、フィールド調査を意欲的に実施したい学生の参加を希望する。		
評価方法	事前事後学習の参加、フィールドスタディの参加状況、レポートによる		

テーマ タイトル	震災と地域再生ー石巻市内と北上町の震災復興の現在ー		
担当者	西城戸誠・横内恵		
実施時期	2018年9月5日～8日	日程	3泊 4日
実施場所	宮城県石巻市、仙台市		
協力機関	きたかみインボルブ、みらいサポート石巻、みやぎ連携復興センターなど		
募集人員	20名～25名程度(参加者が10名に満たない場合は、催行を中止することがある)		
学習目的	津波被災地である石巻市の市街地と半島部の双方を訪問し、震災からの地域再生、復興の現状と今後の課題についての理解を深める。		
行程	1日目：、宮城県全体の復興支援を学ぶ(仙台駅集合)石巻市内で震災復興活動のレクチャー 2日目：震災語り部とあるく被災地跡と震災伝承の現場 3日目：北上町の生業、高台移転後の生活を学ぶ 4日目：震災と地域再生を考えるワークショップ(石巻駅解散) (内容は変更することがあります)		
宿泊場所	住所〒 石巻市内(1泊)、北上町内(2泊)	施設名	TEL
費用	約 40,000～42,000 円(往復の交通費は含まない)		
事前・事後 学習の予定	6月～7月にかけて、水曜日の6,7時限目に実施する		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)事前講義の日程については、後日掲示します。各自、確認してください。 (3)教科書：『震災と地域再生』(法政大学出版局)(必ず購入すること。著者割あり(¥3,240→¥2,592)) (4)大学院生(サステイナビリティ専攻)が参加する場合があります。		
選考基準	エントリーシートで判断ができない場合は、面接もしくは追加レポートによって選抜する。		
評価方法	事前事後学習の参加、フィールドスタディの参加状況、レポートによる		

I-10

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	奄美大島の自然環境・地場産業・歴史文化を学ぶ		
担当者	長谷川直哉／竹原正篤		
実施時期	2018年9月10日（月）～13日（木）	日程	3泊 4日
実施場所	鹿児島県奄美市（奄美大島）		
協力機関	奄美市役所、鹿児島県立大島高等学校		
募集人員	25名程度		
学習目的	奄美大島の自然環境・地場産業・歴史文化を学ぶことで、離島に生きる人々の価値観や地域社会のサステナビリティを考える。		
行程	<p>第1日目（9/10） 午前：各自奄美大島へ移動、 午後：大島紬（つむぎ）の地場産業訪問／ハブ生態観察</p> <p>第2日目（9/11） 午前：マングローブの原生林見学（カヌー使用） 午後：加計呂麻島の古代遺跡見学／海底サンゴ観察</p> <p>第3日目（9/12） 午前：黒糖焼酎製造の地場産業訪問（富田酒造） 午後：県立大島高校訪問（高校生との交流会）</p> <p>第4日目（9/13） 午前：奄美パーク／田村一村美術館訪問 午後：現地解散</p>		
宿泊場所	住所 奄美市内のホテル予定。（現在調整中）	施設名	TEL
費用	約 90,000 円（成田～奄美空港まで往復 LCC 航空券を利用した場合）		
事前・事後 講義の予定	事前学習 7月3日（火）6限（教室はBTを予定。後日掲示） 事後学習 10月2日（火）6限（ 同上 ）		
注意事項	参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。		
選考基準	参加希望者多数の場合は、下記の基準に基づいて選考します。 ① 1年生を優先します。 ② 2年生以上は、CSR論Ⅰ・Ⅱの履修者を優先します。		
評価方法	事前・事後学習、現地での参加態度、レポート内容を基に総合的に判断します。		

I-11

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	S C O T (Suzuki Company of Toga)の演劇とその背景：富山の文化と自然を学ぶ		
担当者	平野井ちえ子		
実施時期	8月23日(木)～8月26日(日)	日程	3泊 4日
実施場所	富山県南砺市・砺波市・富山市		
協力機関	S C O T (Suzuki Company of Toga)・南砺市		
募集人員	15名		
学習目的	利賀(南砺市)は、芸術創造による真の国際交流の場であり、世界の演劇人から「演劇のメッカ」と称されている。本FSでは、観劇のほか利賀とその近隣の文化と自然を学び、演劇と場の関わりについて考える。系統的学習のために、「比較演劇論Ⅰ・Ⅱ」を既習または今年度履修予定であることが望ましい。		
行程	概要(変更の可能性あり。詳細は後日確定。) 1日目: JR富山駅集合、富山県自然博物館ねいの里を見学、おわら風の盆前夜祭ステージ・町流しを鑑賞。 2日目: 相倉・菅沼の合掌集落・五箇山を訪問、砺波の散居村を展望。 3日目: S C O Tサマーシーズンの2演目を観劇: 合掌造りの民家を劇場に改造した「利賀山房」・「新利賀山房」、池や山など利賀の大自然を背景に盛大な花火の美しい「野外劇場」などでの観劇。 4日目: 富山市内グループ別学習、夕方現地解散。		
宿泊場所	富山市中心部	施設名	ドリーミン富山(予定)
費用	約50,000円(宿泊費、朝食代、現地チャーターバスの分担金、おわら風の盆前夜祭チケット代、S C O T観劇2演目チケット代、保険料等の費用) *上記金額に、富山市内までの往復交通費、各日の昼食・夕食代、4日目のグループ別学習に伴う富山市内交通費・施設見学科等を含みません。		
事前・事後 講義の予定	事前講義は7月29日(日)予定: 事前学習+参加注意事項伝達など 事後講義は9月14日(金)予定: 観劇ディスカッション+各自のFS学習レポート発表。いずれもBT24階人間環境学部資料室会議室にて、11:00～17:00で実施予定。		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)参加希望者は、説明会に参加して下さい。5月9日(水)昼休みに、人間環境学部資料室会議室で実施します。昼食をとりながらでもかまいません。 (3)事前講義・事後講義も含めてすべての日程に参加しない限り、単位の取得は認めません。遅刻・早退も厳禁です。		
評価方法	講義と現地活動の参加内容、事後レポート(日誌+総括エッセイ)等から総合的に評価します。		

I-12

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	大田区の環境と産業		
担当者	藤倉良		
実施時期	8月3日(金)～8月10日(金)(予定)	日程	日帰り4日もしくは5日
実施場所	東京都大田区		
協力機関	東京都環境公社、大田区環境管理課など		
募集人員	15名		
学習目的	大田区内の静脈産業、廃棄物最終処分場、自然公園などを体験する。		
行程	8月 3日(金) 午前：大森・海苔のふるさと館 午後：東京港野鳥公園 7日(火) 午後：大田清掃工場、中央防波堤(最終処分場) 8日(水) 午後：リーテム(家電リサイクル)、アルフォ(食品リサイクル) ほかに町工場と森ヶ崎水再生センター(下水処理場)を見学予定(日程調整中)		
宿泊場所	全行程日帰り	施設名	TEL
費用	大田区内の集合場所までの交通費及び東京港野鳥公園の入園料(300円) 8月3日の昼食は各自持参		
事前・事後 学習の予定	事前学習：8月1日及び2日 3・4時限 BT0501 事後学習：9月19日 2時限 BT0501		
注意事項	参加許可後に、キャンセルをしないこと。		
選考基準	全体の属性(学年、一般学生、社会人、SCOPE)のバランスを考慮して決定する。同一属性の応募者数が多いときはGPA(1年生においては応募動機)上位者から選抜する。		
評価方法	参加状況と事後学習後に提出するレポートで評価する。		

I-14

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	障がい者福祉の体験		
担当者	朝比奈茂		
実施時期	2018年8月1日～31日	日程	3泊4日もしくは2泊3日 (選択したプログラムによって異なります。)
実施場所	〒379-0226 群馬県安中市松井田町行田 52 ゆきわりそうの山荘		
協力機関	NPO 法人 ゆきわりそう (担当者: 姥山剛 豊島区南長崎 6-34-7)		
募集人員	20名程度		
学習目的	障がい者の方々と共に寝食を過ごすことで、福祉活動の大変さおよび大切さを実際に体験し、人間としての生き方を実感する、人間形成のためのフィールドスタディ (FS) である。このプログラムは、FS 開始以来のロングラン・プログラムである。		
行程	<p>1日目: 東京都豊島区の「ゆきわりそう」本部からバスで出発する。</p> <p>2,3日目: プログラムに従って、山荘で担当する障がい者と一緒に行動し、寝食をともにする。</p> <p>4日目: バスで東京に戻る。</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラムには、ゴロ野球、体操、絵画、音楽、乗馬、マラソンなどがある。 参加者はゆきわりそうと相談の上、プログラムを決める。障がいの程度によって、プログラムが分かれるので事前講義で確かめること。 		
宿泊場所	〈住所〉 〒379-0226 群馬県安中市松井田町行田 52	施設 名	ゆきわりそう山荘 TEL027-380-7088
費用	5,000円 (食事、交通費を含む)		
事前・事後 講義の予定	事前講義 : 6月23日 (土) 17時～19時 (BT24階会議室) 事後講義 : 10月20日 (土) 17時～19時 (BT24階会議室)		
注意事項	<p>1) プログラムを決定したら、実習前にゆきわりそう本部を訪れ、担当者と打ち合わせを兼ねて施設見学などしておくこと。</p> <p>2) 参加許可後に、キャンセルをしないこと。 ※キャンセルをした場合でも、費用負担をして頂きます。</p>		
選考基準	応募者数が募集定員を上回った場合、書類審査にて決定させていただきます。		
評価方法	FS ノート、実習報告書の提出および実習時での活動状況、また事前・事後講義の出席状況により総合的に評価する。		

テーマ タイトル	フィールドスタディ中国 北京・河北・山東・上海 —中国大陸で地球環境問題、歴史文化を学ぶ—		
担当者	日原 傳・朝比奈 茂		
実施時期	8月30日(木)～9月8日(土)	日程	9泊 10日
実施場所	北京市、河北省承德市・塞罕壩、山東省、上海市		
協力機関	黄河文化経済発展研究会(中国)、中国旅行社(CITS)、山東大学		
募集人員	20人程度		
学習目的	<p>中国の沙漠化の迫る地域での緑化事業、中国北部の水危機問題対策としての南水北調プロジェクト、黄河下流域の現状を見学し、地球環境問題について考える。避暑山荘・万里長城・景山公園・泰山・孔廟等を訪れ、中国の歴史と文化を学ぶ。また、現地の大学で学生同士の国際交流もはかる。</p> <p>中国の多様な地域や都市の現状を知るとともに、地球環境問題、中国の歴史・社会・文化などを体験的に学習し、総合的に考えていく。</p>		
行程	<p>1日目 午後 成田空港(または羽田空港)発、夕刻 北京着</p> <p>2日目 専用バスで承德へ、避暑山荘(世界文化遺産)等見学</p> <p>3日目 専用バスで塞罕壩へ、林場、展覧館等見学</p> <p>4日目 北京市へ、万里長城(世界文化遺産)、中日友好万人友誼林等見学</p> <p>5日目 南水北調工程団城湖管理处見学、前門・天安門広場・景山公園等見学</p> <p>6日目 列車で済南へ、黄河下流・釣突泉見学、山東大学訪問(学生間交流)</p> <p>7日目 岱廟、泰山(世界文化自然遺産)見学、曲阜へ</p> <p>8日目 孔廟・孔府・孔林(世界文化遺産)見学、列車で上海へ、外灘等見学</p> <p>9日目 終日 上海市内自主テーマ学習(自由行動)、夕刻 記念交歓会</p> <p>10日目 午前 上海発、午後 帰国 (往復航空機は未定)</p>		
宿泊場所	北京1+2泊、承德1泊、塞罕壩1泊、 済南1泊、曲阜1泊、上海2泊	施設名	西郊賓館、承德雲山賓館、 塞罕壩泰山和酒店、舜耕山荘、 闕里賓舎、新梅華東大酒店
費用	222,000円(予定) (航空、現地交通、宿泊、食費、燃油チャージ、通訳ガイド等ほぼ全てを含む) (なお、海外FS奨励金制度があります)		
事前・事後 学習の予定	オリエンテーション(5月)、参加者手続き(6月) 事前講義、準備ミーティングほか(7～8月3～4回) 事後報告会ほか(9～10月、1～2回)		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)費用は為替レート、燃油チャージなどにより若干変わる可能性があります。 (3)海外FS奨学金については別途説明します。 (4)旅程については、現地事情により詳細が変わる可能性もあります。		
選考基準	志望調査票の内容		
評価方法	事前の学習や準備、現地での積極的な活躍ぶり、事後のレポート(文集)		

II-1

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	食と命と平和 ～自給自足の有機農業を学びながら国際交流～		
担当者	板橋美也、高橋五月		
実施時期	2019年3月上旬	日程	3泊 4日
実施場所	栃木県那須塩原市		
協力機関	アジア学院		
募集人員	15名程度		
学習目的	アジア学院は、自給自足の有機農業を行い、途上国の農村指導者の育成に力を注いできた学校です。このアジア学院で、様々な国の人々と、基本的に英語を用いながら農作業をしたりレクチャーを受けたりすることで、英語でのコミュニケーション能力を磨くと同時に持続的開発、食・命・平和についての考えを深めます。		
行程	<p>行程については、訪問先の都合によって変更する場合があります。</p> <p>1日目：現地集合（那須塩原駅）、キャンパスツアー、フードライフワーク、温泉 2日目：ラジオ体操、家畜世話、モーニングギャザリング、農作業（有機農業）、レクチャー、食事づくり 3日目：2日目と同じ（レクチャー、食事作りの内容は異なる） 4日目：ラジオ体操、モーニングギャザリング、振り返り、昼食後に解散（那須塩原駅にて）</p>		
宿泊場所	住所〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢 442-1	施設名	学校法人アジア学院 TEL 0287-36-3111
費用	約 30,000 円（宿泊代・食事代を含む、交通費は各自負担）		
事前・事後 学習の予定	事前学習：2月に実施予定 事後学習：3月に実施予定		
注意事項	<p>(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2)アジア学院でのコミュニケーションは基本的に英語ですが、FS 参加者の英語レベルは特に問いません。アジア学院には英語が母語ではないスタッフの方も多く、日本語が通じる方も数名いらっしゃいます。</p> <p>(3)SCOPE 科目 Field Workshop と共催予定。定員15名はフィールドスタディーと Field Workshop の参加者の合計です。</p>		
選考基準	定員を上回った応募があった場合、面接選考をすることがあるかもしれません。		
評価方法	事前事後学習・フィールドスタディへの取り組みの積極度、レポートによる。		

Ⅱ-2

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	地域における就労継続支援・生活介護活動への参加 一障がい者とともに同じときを過ごす					
担当者	國則守生					
実施時期	2019年2月1日（定期試験終了後）-22日を予定	日程	合計4日間を選択 （日帰り）			
実施場所	〒341-0012 三郷市半田 1212-2（『みどりの風』：就労支援および生活介護） 〒341-0034 三郷市新和 4-601（『工房・風のうた』生活介護）ほか					
協力機関	社会福祉法人 緑の風福祉会（障がい福祉サービス事業） <www.misato-midorinokaze.org>					
募集人員	10名 （施設受け入れキャパシティの関係から1日当たり訪問者：3名以下）					
学習目的	知的・精神障がい者が地域で生活するために行う作業・活動を通じて障がい者福祉活動を理解し、参加学生が個人あるいは連帯してできることを現場で考える。すなわち、短期間であるが、「障がいをもつ仲間が三郷の地で働き、住み、笑顔で暮らしていけることをささえる！」（緑の風福祉会の上記HPより）活動に参加し、持続的可能な地域社会の姿を考える。					
行程	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: middle;"> 第1日目 第2日目 第3日目 第4日目 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td> 障がい者が行う軽作業（内職作業、創作活動など）、 廃品回収、散歩、パン販売（地域での販売）などの 就労支援や生活介護の活動を行う。 （障がい者の方々と一緒に同じときを過ごすことが中心） また、できれば私たちでできる施設業務の各種のお手伝 を行うことも考えている。 （各人の参加日程については希望を事前講義時に申請し、その場で調整後、グル ープ化する。その後の微調整も可能） </td> </tr> </table>			第1日目 第2日目 第3日目 第4日目	}	障がい者が行う軽作業（内職作業、創作活動など）、 廃品回収、散歩、パン販売（地域での販売）などの 就労支援や生活介護の活動を行う。 （障がい者の方々と一緒に同じときを過ごすことが中心） また、できれば私たちでできる施設業務の各種のお手伝 を行うことも考えている。 （各人の参加日程については希望を事前講義時に申請し、その場で調整後、グル ープ化する。その後の微調整も可能）
第1日目 第2日目 第3日目 第4日目	}	障がい者が行う軽作業（内職作業、創作活動など）、 廃品回収、散歩、パン販売（地域での販売）などの 就労支援や生活介護の活動を行う。 （障がい者の方々と一緒に同じときを過ごすことが中心） また、できれば私たちでできる施設業務の各種のお手伝 を行うことも考えている。 （各人の参加日程については希望を事前講義時に申請し、その場で調整後、グル ープ化する。その後の微調整も可能）				
訪問場所 （日帰り）	日帰り（施設「みどりの風」は武蔵野線・新三郷駅から徒歩5分程度）	施設名	「みどりの風」048-959-1615 「工房・風のうた」048-952-7086			
費用	5,000円（昼食代を含む研修費用）、学部付保の保険料約800円（学部窓口へ納入）および交通費等を自己負担する。					
事前・事後 学習の予定	事前授業は12月および1月の2回、事後授業は2月下旬の1回を実施予定（事後授業には施設関係者が来校する予定）。詳細な日時は9月にBT24階の掲示板に発表する。					
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)事前・事後授業への参加もFSの重要な部分を構成しています。正当な事由で出られない場合、代替の方法を相談のこと。					
選考基準	応募者数が募集定員を上回った場合は、志望調査票に記載されている志望動機の内容および学年等を総合的に評価し、選抜を行う。場合によっては個別面接を行う（選抜の比率は比較的低いと思われるので、積極的な参加を期待しています）。					
評価方法	FS計4日間（制定されているフィールド・ノートの作成を含む）での活動状況（80%）および事前・事後講義の活動／提出された課題メモ（20%）を総合評価する。ただし、4日間参加、事前・事後講義（代替を含む）および各種レポート提出は必須とする。					

Ⅱ-3

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	石垣島・白保におけるサンゴ礁文化継承のとりくみを学ぶ		
担当者	梶 裕史		
実施時期	2019年3月7日～11日（第一候補。秋学期Ⅱ期募集開始時に、確定した期間をお知らせします。）	日程	4泊5日
実施場所	沖縄県石垣島・白保集落		
協力機関	NPO 夏花		
募集人員	15名以内		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「サンゴ礁文化」とは何か、またそれを継承することにどのような意義があるのか、について学ぶ ・地域の伝統文化を活かした、住民主体の持続的な地域づくりに寄与するエコツーリズムの組織的なとりくみについて、その具体的プログラムに参加することでその意義を実感する （地域の生業・生活文化に重点があり、サンゴ礁を健康に保つためには陸上のエコな農業やライフスタイルの実現が不可欠という考え方に立つため、農業など陸上のプログラムも多くなります。）		
行程	<ul style="list-style-type: none"> ・現地集合・解散になります（現地までの往復航空券は各自手配） 1日目 夕方までに白保集合 2日目～4日目 白保滞在（民泊を含む）。現地の「NPO 夏花」が企画するスタディツアーに参加。しらはサンゴ村におけるレクチャー、沖縄の伝統的な集落景観が残る白保村めぐり、サンゴ礁観察（シュノーケリング）、漁体験、サンゴ礁保全のための「月桃」植え、「白保日曜日」見学、白保の方々との交流会、民泊先の稼業（農業など）体験 etc. 5日目 17:00頃 白保で解散 		
宿泊場所	住所 〒 事前講義で伝達	施設名	TEL 事前講義で伝達
費用	約9万5千円（現地費用約5万5千円＋往復航空券約4万円）		
事前・事後 学習の予定	1回目 11月下旬の土曜日午後（日時・場所は秋学期募集開始時に掲示） 2回目（候補日）2019年2月2日 午後		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)事前講義は必ず出席すること。特に1回目は、ガイドに従いその場で最安の航空券を各自のスマートフォンから予約する作業を行いますので、欠席者は、証明する書類を出せるような事情（急病や身内の急な不幸等）でもない限り、参加キャンセルと見なします。 (3)友人と一緒に応募を不可とはしませんが、仲間と楽しむ観光旅行気分は固くお断りします。友人と一緒にでも「一人旅の気持」で、現地の「人」や自然・文化と一対一で向き合えることが求められます。		
選考基準	定員以上の応募があった場合、志望書の内容により選考します。		
評価方法	現地での実習態度、事後レポート		

II-4

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	津軽鉄道でむすぶまちづくり		
担当者	西城戸誠・長峰登記夫		
実施時期	2019年2月16日～19日（予定）	日程	3泊 4日
実施場所	青森県五所川原市、中泊町、つがる市ほか		
協力機関	企業組合でる・そーれ 津軽鉄道サポーターズクラブほか		
募集人員	15～20名程度（参加者が10名に満たない場合は、催行を中止することがある）		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり、まちづくり、着地型観光の実際を学ぶ ・「ふるさと」とは何か、「地域」で生きていくとはどういうことかを考える ・「食」を中心とした六次産業化、映画制作、コミュニティカフェによるまちづくりを学ぶ 		
行程	<p>1日目 五所川原市内街歩き、立佞武多の館訪問 コミュニティカフェとまちづくり（講演）、農家民泊宿泊</p> <p>2日目 津軽鉄道（ストーブ列車）、斜陽館・新座敷、</p> <p>3日目 映画作りと地域観光、冬の農業から考える「食文化」と観光、ワークショップ開催。</p> <p>4日目 まとめのワークショップ</p> <p>内容は変わることがあります</p>		
宿泊場所	住所〒 五所川原、中泊町、つがる市等	施設名	TEL
費用	約 41,000～43,000 円（往復の交通費は含まない）		
事前・事後 学習の予定	ガイダンス1回（10月中）、事前学習会3回（11, 12, 1月に実施）、事後学習会1回（3月 or 4月上旬に実施） （事前講義の日程については、後日掲示します）		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 募集に際して、レポート課題を課す予定。詳細は9月以降に発表する。</p> <p>(3) 現地（五所川原）集合であり、前日に深夜バスか、当日、新幹線（はやぶさ1号）に乗車できること。</p> <p>(4) 受け入れ団体の都合で、参加学生の年齢制限があります（おおむね30歳まで）。</p>		
選考基準	エントリーシートで判断ができない場合は、面接もしくは追加レポートによって選抜する。		
評価方法	事前事後学習の参加、フィールドスタディの参加状況、レポートによる		

II-5

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	フィールドスタディ・イン・オーストラリア：英語と自然環境保護を学ぶ		
担 当 者	ストックウェル・エスター，高田雅之		
実 施 時 期	2月末から3月半ばにかけての2週間程度	日 程	14泊15日
実 施 場 所	オーストラリア、クィーンズランド州ゴールドコーストにある、 ボンド大学付属語学学校(Bond University, Bond College)		
協 力 機 関	ボンド大学付属語学学校(Bond College)		
募 集 人 員	20名程度		
学 習 目 的	語学学習とともに異文化の理解、オーストラリアの自然環境と野生動物と生物、それから、自然環境の保護について学びます。		
行 程	<ul style="list-style-type: none"> ● 語学学習（英語） ● オーストラリアの自然環境についての学習 <ul style="list-style-type: none"> ➢ カランビン野生動物保護区にある野生動物病院や研究施設を訪問し、病院に来る動物と動物の治療を始めとし、自然環境の中で人間の行動によって動物に直接影響を与える危険性があるために環境を大切にする必要性について学びます。それから、カランビン野生動物保護区が多くのネイティブ動物のリハビリにどのように重要な役割を果たすかについて学ぶ予定です。コアラのエリアも訪れ、スタッフと話をし、コアラについてより多くの知識を身に付けます。 ➢ 世界自然遺産として登録されているゴンドワナ雨林保護区の一つ Lamington 国立公園を訪問し、自然環境と野生動物について学びます。ラミントン国立公園には、亜熱帯、乾燥、温帯、寒帯の気候に属する植物が生息していて、樹海、洞窟、滝など太古の自然を思わせる景観が広がっています。 ● オーストラリア人の家族にホームステイ オーストラリア人の家庭で生活をともにしながら、オーストラリア人の生活様式や文化、日本との違い等について実体験をとおして学びます。 		
宿 泊 場 所	住所〒	施設名	ホームステイ TEL: +61 7 5595 2651 (Bond College)
費 用	約33万円（航空運賃、英語の授業料やフィールドスタディの参加費、ホームステイでの滞在費等を含みますが、レートの変動などにより変わります。また、大学からの奨励金があります。）		
事前・事後 学習の予定	出発前5回、帰国後1回実施しますが、日時は未定です。秋学期になってから掲示で発表します。		
注 意 事 項	参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。		
選 考 基 準	英語が上手な学生だけ選抜することではありません。英語の授業は語学学校でのクラス分けテストの結果によってレベル別に行われます。しかし、説明会の英語の説明が理解できるくらいの英語能力が必要です。それから、応募理由などを参考に参加学生を選抜します。必要に応じて面談することもあります。		
評 価 方 法	事前学習参加、現地での学習態度、FSでの行動、事後学習での英語での発表および英語でのレポートなどで総合的に行います。		

II-6

2018年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	「過ぎ去ろうとしない過去」—歴史を現在にいかにか活かすか? ドイツ編		
担当者	辻 英史/西城戸 誠		
実施時期	2019年3月3日(日)～15日(金) 予定	日程	12泊13日
実施場所	ドイツ連邦共和国		
協力機関	ベルリン州政治教育センター、ブーヘンヴァルト収容所記念館、ミュンヘン・ナチス・ドキュメントセンター、ミュンヘン大学日本語学科		
募集人員	15人		
学習目的	地域社会は、その歴史遺産をどのように活用しているのか? 現在、歴史を活用した地域振興やまちづくりが各地で盛んにおこなわれている。歴史上の著名な人物や重大事件、建築物は、その街の魅力を外に向かって発信することに、いかに貢献しているのか。歴史を通じて郷土愛やナショナル・アイデンティティはどのように作り上げられていくのだろうか。これらの課題にドイツはどのように取り組んできたのかを学ぶ。		
行程	3日(日) 日本出発、ベルリン到着 4日(月) ベルリン州政治教育センター/ホロコースト記念碑 5日(火) フンボルト・フォーラム 6日(水) 抵抗運動記念館、ベルリンの壁公園など 7日(木) ヴィッテンベルク旧市街 8日(金) デッサウ市、キュフホイザー記念碑 9日(土) ヴァイマル旧市街 10日(日) ブーヘンヴァルト強制収容所記念館にてワークショップ 11日(月) ニュルンベルク旧市街、国際軍事法廷記念館 12日(火) ミュンヘン・ナチス・ドキュメントセンター 13日(水) ミュンヘン大学にて同大日本語学科と合同ワークショップ 14日(木) ミュンヘン発 15日(金) 日本帰国 ※変更の可能性あり		
宿泊場所	住所〒	施設名	訪問先のホテルおよびユースホステルを利用 TEL
費用	約 250,000円(航空運賃、宿泊・朝食費、ドイツ国内移動費、訪問施設入場料・ガイド通訳料などを含む。)このほか、日本国内の空港までの往復費用、期間中昼食と夕食の費用がかかります。※海外FS奨励金制度があります。		
事前・事後学習の予定	事前学習: 秋学期水曜6限に10回程度実施する予定。 事後学習: 帰国後2019年3月末～4月初めに1回開催。		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)本コースはI期に開催される長崎FSと内容的に関連しています。本コース参加希望者は同コースにも参加することを推奨します。		
選考基準	志望理由書のほか面接を実施します。		
評価方法	終了後レポート提出。		